

第1特別展示室の照明がLED化されました

令和6年12月～令和7年3月の間、第1特別展示室の照明をLED化する改修工事を行いました。ついにお目見えした第1特別展示室。どこが変わったのか、ご紹介します。



Before



After

ココが変わりました

その1 ダウンライトから口の字形LEDに！

LEDの広角の光が会場全体をムラなく照らして、クリアで均一な光の空間になりました。



この部分が「ルーバー」



リニューアルした第1特別展示室ではルーバーが撤去され、スッキリした印象です。

その2 スポットライトもLEDに！

部分的な照明として効果を発揮するスポットライトで、7月頃に現在のハロゲン電球からLEDに変わる予定です。



その3 天井の「ルーバー」を外してスッキリ！

ルーバーとは、羽と呼ばれる細長い金属板を、天井に平行配置したもので、採光や通風、目隠しなどの役割を果たしていました。



完成後、職員に向けて新しい照明のお披露目があり、照明の作り方や機器の操作方法などのレクチャーを受けました。

ほかにも

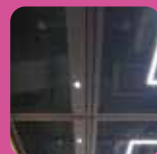
こんなこともできるようになりました



口(四角)ブロックごとに、光の色温度(白、青、黄など)と照度(光の明るさの度合い)を変えることができるようになりました。1ブロックずつつけることも可能です。



光の設定は、室内にある7種類のボタンを押すことで、部屋の光色温度、照度を5つのパターンに変えることができます。



壁際には、壁を均一に照らすウォールウォッシャー照明が新たに設置され、壁面が明るくなりました。



オリジナル設定したい場合は、専用のタブレットで操作可能です。

第1特別展示室は、主に貸会場として使用されます。今年度も様々な催し物が開催される予定です。黎明館にお越しの際は、ぜひ新しくなった第1特別展示室もご覧ください。



色々威胴丸兜大袖付

島津歳久着用の胴丸

歴史の中で「島津」といえば誰を真っ先に思い浮かべますか。島津の始まりの忠久、島津の退き口の義弘、幕末の斉彬や久光あたりが有名で、その名を挙げた人が多いでしょう。しかし、今回紹介したいのは、写真の「色々威胴丸兜大袖付」(個人蔵 黎明館保管)を着用したと伝えられる歳久です。

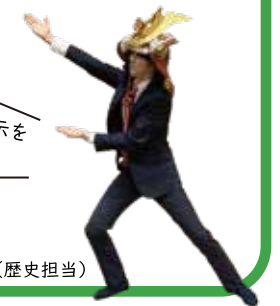
島津歳久は義久・義弘の弟で、天正8年以降、祁答院12ヶ村を領知し、虎居城(現さつま町)に居城しました。数々の戦で武将として活躍するとともに、公家とも交流のあった人物です。歳久は豊臣秀吉が薩摩に入った日に出迎えなかったり、朝鮮出兵の命令に背いたり、秀吉に不服従の姿勢を見せます。そこで秀吉は義久に歳久追討の命令を出すのです。天正20(1592)年7月18日、歳久は追手との戦闘の後、竜ヶ水(現鹿児島市吉野町)付近で自害しました。義久は秀吉の死後、心岳寺(現平松神社)を建立し、現在でも歳久の墓はそこにあります。この資料の「色々威」とは三色以上の威毛で札という部品を綴じているということ、「胴丸」は胴を丸くひとまわりにして右脇で引き合わせる形式のことをいいます。

現在展示場では、江戸時代に歳久生害の顛末が記された「歳久生害忠隣戦死一巻」(個人蔵 黎明館保管)を見ることができます。「色々威胴丸兜大袖付」は現在展示していませんが、令和8(2026)年3月から始まる企画展で公開する予定です。



歳久生害忠隣戦死一巻

企画展での展示をお楽しみに！



主査 吉峯真太郎(歴史担当)

黎明館のフカボリ 16

黎明館で出会う

荒海の男 (あらうみのおとこ)

富永直樹作
ブロンズ
高さ210.0cm
昭和44(1969)年

富永直樹(とみなが なおき 1913-2006)は長崎県の生まれ。東京美術学校卒業。北村西望(きたむら せいばう)に師事。日本芸術院会員(昭和49年)、日展理事長(昭和54年)、社団法人日本彫刻会理事長(昭和61年)などをつとめました。また、昭和59(1984)年に文化功労者となり、平成元(1989)年に文化勲章を受章しました。

男性は何を見つめているのでしょうか。

海？ 空？ それとも未来？

想像しながら鑑賞してみてください。

黎明館1階ロビーに展示しています。



黎明館 NEWS

常設展示入館者数 300万人達成



令和7年4月9日(水)、常設展示の入館者数が300万人を突破しました。昭和58(1983)年10月21日の開館以来、41年と5ヶ月での達成となりました。

令和7年度の転出・転入者

転出者		
職名	氏名	転出先・職名
副館長兼総務課長	池之野 弘幸	(退職)
観光・文化スポーツ部文化振興課(兼)歴史・美術センター黎明館主査	西野 元勝	観光・文化スポーツ部文化振興課主査

転入者		
元所属・職名	氏名	職名
消費生活センター所長	三反田 みどり	副館長兼総務課長
教育委員会(垂水市立椋原小学校教頭)	菅牟田 勉	観光・文化スポーツ部文化振興課(兼)歴史・美術センター黎明館専門員

〔館内〕(その場昇任)

学芸課学芸調査係主査	坂口 洋幸	学芸課企画資料係学芸専門員
------------	-------	---------------

編集 後記

御楼門が復元され5年が経ちました。今では鹿児島城跡のシンボリック存在となっています。実は、REIMEI[黎明]の紙面を大幅にリニューアルしたのも御楼門復元と同じ時期でした。見やすい、分かりやすい、手に取りやすい紙面を目指し、これからも工夫していきます。(田平)